

DMG MORI SEIKI

COMPANY LIMITED

第67期中間 | 株主通信

2014年4月1日●2014年9月30日



DMG森精機株式会社

証券コード: 6141

DMG MORI

東京グローバルヘッドクォータ グランドオープン

チューリッヒグローバル
ヘッドクォータ

● 東京グローバル
ヘッドクォータ



チューリッヒグローバルヘッドクォータ



東京グローバルヘッドクォータ 概要

場所	東京都江東区潮見2丁目3-23
敷地面積	3,570㎡
建物	4階建て（合計建物面積7,510㎡） 1階：東京ソリューションセンター 2階：セミナールーム、応接室、NCスクール 3・4階：事務室
従業員	約100名
総投資額	約56億円

世界展開を見据えて DMG MORIのグローバル ヘッドクォータが始動

東京 潮見に「東京グローバルヘッドクォータ」をグランドオープンいたしました。グランドオープンにあたり7月18日（金）に開所式を開催し、当社取締役社長の森 雅彦、DMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFT CEO Dr.Rüdiger Kapitzaら関係者によるテープカットが行われました。東京グローバルヘッドクォータは、DMG MORIとして全世界のお客様をサポートするため、スイス ウィンタートゥールに開設予定のもう一つのグローバルヘッドクォータと共に、全世界の営業・サービスを統括します。東京グローバルヘッドクォータの1階には、東京ソリューションセンタを併設し、DMG MORIの最新鋭の工作機械を常時約30台展示します。ショールームとしての機能だけでなく、新しい加工技術をお客様と共同開発する場を設けることに加え、お客様に最先端の加工技術を習得していただく5軸加工スクールを開講します。空港からのアクセスの良さなど地の利も活かし、国内のみならず、アジアを中心とした海外のお客様をサポートしてまいります。



株主様向け

東京グローバルヘッドクォータ 見学会ご案内

日時

2015年1月17日(土) 11:00~13:30
2015年1月24日(土) 11:00~13:30

東京グローバルヘッドクォータ見学会を開催いたします。多くの皆様のご応募をお待ち申し上げております。

見学場所 東京グローバルヘッドクォータ
1階東京ソリューションセンタ
2階セミナールーム

参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復
交通費は各自のご負担でお願いいたします）

募集対象 2014年9月30日現在、当社株式を100株以上
保有する方（同伴者1名可。ただし小学生以上の
方に限らせていただきます）

募集定員 50名/日（応募多数の場合は抽選とさせていただきます）

交通 【送迎バスをご利用の方】
東京駅鍛冶橋駐車場 集合・解散
【公共交通機関をご利用の方】
JR京葉線「潮見駅」西口下車 徒歩2分
東京グローバルヘッドクォータ 集合・解散
駐車場のご用意が無いため、自家用車での
ご来社はお断りさせていただきます。

備考 昼食をご用意しております。



お申し込み 左記のQRコードもしくはURLからのお申し込みのみとさせていただきます。

<http://www.dmgmoriseiki.co.jp/irtour/>

締め切り 2014年 12月17日（水） 当選者のみ郵送でご連絡（落選の場合はご連絡は差し上げません）

お問合せ DMG森精機株式会社 広報・展示会部 広報グループ
E-mail : users@dmgmoriseiki.co.jp



取締役社長
工学博士 森 雅彦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに第67期中間期（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

事業の経過及び成果

当中間期の工作機械業界における引合・受注環境は、内需・外需ともに好調に推移し、日本工作機械工業会が発表した2014年1月から9月の工作機械受注実績が前年同期比で35.7%増加しました。当社グループにおいても、日本や米州を中心とした堅調な受注を背景に、引き続き高水準の受注確保を目指してまいります。当社グループでは、9月に米国

シカゴで開催された「IMTS 2014」に、北米工場で製造された横形マシニングセンタ「NHX 4000」、「NHX 5000」の第2世代モデルと積層造形機械「LASERTEC 65 3D」を含む、計40台の最新鋭の工作機械を展示いたしました。展示会開催期間中は、10,000名を超えるお客様にご来場いただき、目標を上回る受注を獲得することができました。こうした状況のもとで、当社の売上高は80,401百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は4,574百万円（前年同期比32.5%増）、経常利益は6,690百万円（前年同期比92.3%増）、四半期純利益は5,721百万円（前年同期比89.0%増）となりました。

DMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFTとの協業の成果

当社は資本業務提携しているドイツのDMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFTと共に、グローバル市場の拡大に伴い対象を絞った投資活動を続けてまいります。この過程において、現在ベトナムやフィリピン、インドネシア、そしてタイなどの新興市場への進出にも注力しています。10月には移転拡張したインドネシアのテクニカルセンタがグランドオープンいたしました。テクニカルセンタには、新デザインコンセプト機を含む最先端機種を展示しているほか、お客様と共に新しい加工技術を開発する場や5軸加工のトレーニングの場を設けたショールームも併設しています。さらに、2016年にはドイツのヴェルナウに自動化に特化した工場であるDMG MORI Systemsの設立を予定しています。特に、自動車業界関連のお客様に生産課題におけるトータルソリューションのご提案や、最適なサービスをご提供してまいります。

当中間期の取り組みと課題

製品面では、8月に量産部品加工用高速横形マシニングセンタ「i 50」の販売を開始いたしました。「i 50」は、自動車のシリンダブロックとシリンダヘッドの加工に最適な主軸40番テーパの横形マシニングセンタで、

ターゲットワークに特化した設計をすることで省スペースと高速加工を可能にし、単位面積当たりの生産性が大幅に向上いたしました。また、9月には高精度・高速横形マシニングセンタ「NHX 4000」と「NHX 5000」の第2世代モデルの販売を開始いたしました。新デザインを採用し、革新的な新オペレーティングシステムCELOS（セロス）を搭載することに加えて、主軸の性能及び信頼性を向上させ、基本構造を強化し、世界最高性能としました。今後も引き続き、高速・高精度な工作機械への高いニーズにお応えし、お客様の生産性と効率性の向上に貢献してまいります。

また、7月に東京 潮見にグローバルヘッドクォータをオープンし、9月にはお客様向けのオープンハウスを開催いたしました。期間中には、世界初出展となり、新デザインコンセプト機で第2世代となる複合加工機「NTX 1000」や、アジア初出展となる超音波加工機「ULTRASONIC 30 linear」など最新鋭の工作機械を含む計31台を展示し、自動車、航空機、

建設機械、医療機器、金型、エネルギー産業などあらゆる業種の最新のデモ加工を実演しました。都心からのアクセスが良く、都市型のショールームとして機能する東京グローバルヘッドクォータで開催したこともあり、会場は連日活気に満ちあふれました。

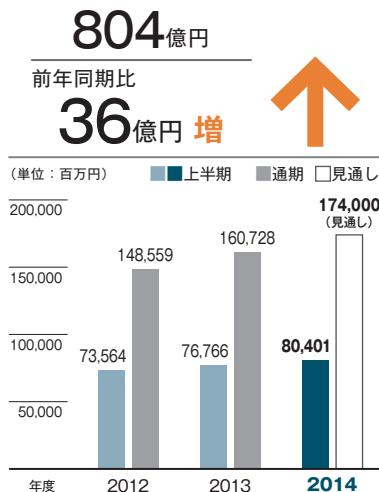
配当について

第67期の中間配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり12円を12月2日からお支払いすることといたします。利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

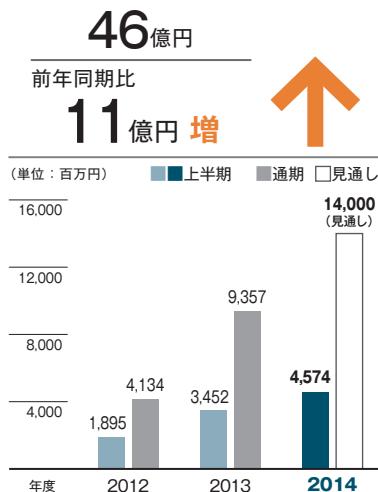
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

連結売上高



連結営業利益



連結中間(当期)純利益



豊かな暮らしを支える工作機械

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。そしてその全ての人間活動に工作機械は欠かせません。一見関係ないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば工作機械が関わっています。



複合加工機
NTX 1000 2nd Generation



5軸マシニングセンタ
DMU 50



ブリスク



航空・宇宙・船舶



シリンダブロック



自動車・バイク



建機部品



建機



ポンプハウジング



電機・通信・半導体



コア



織機・繊維機械



ギヤシャフト



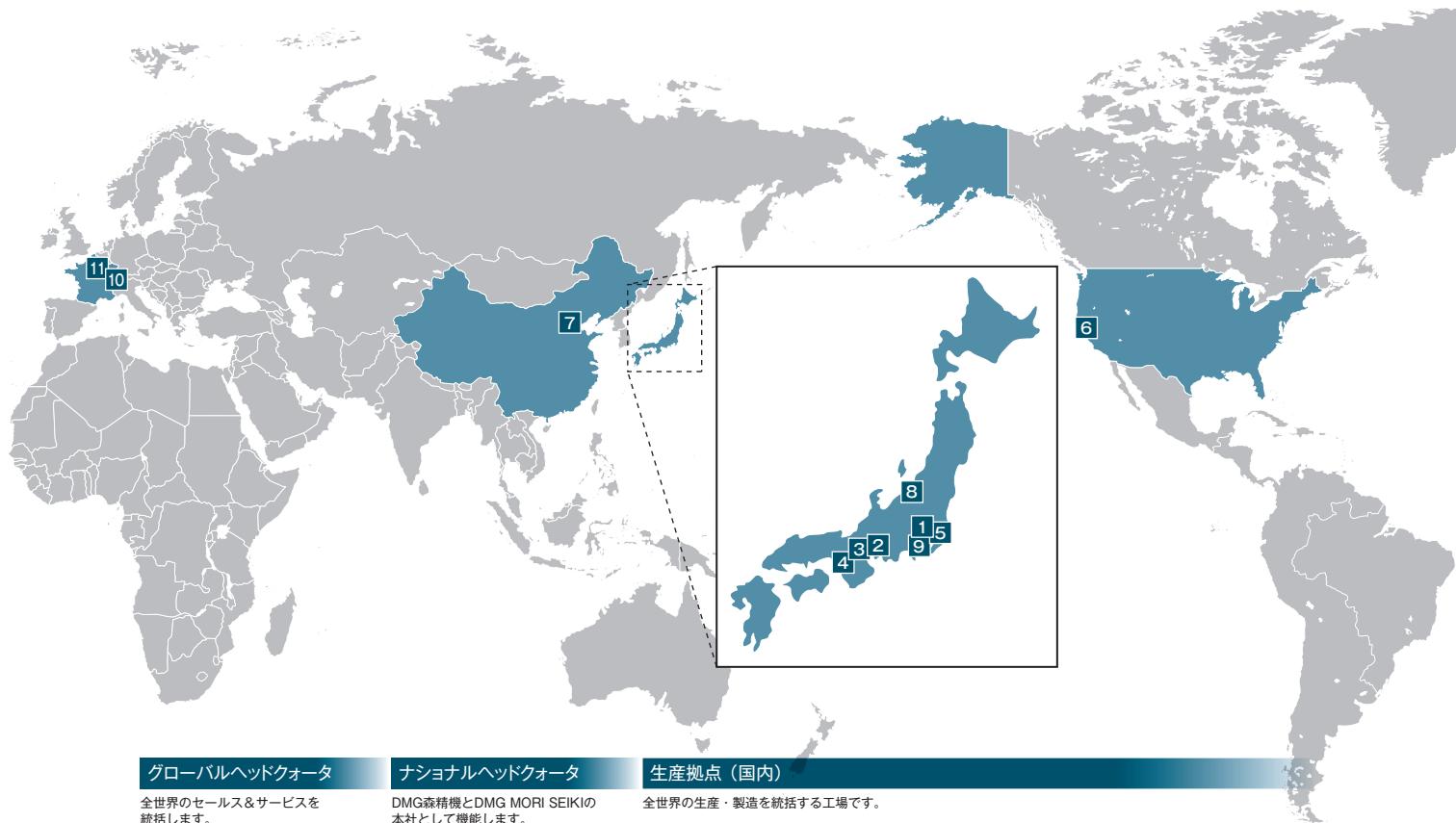
農業機械



人工骨



医療



グローバルヘッドクォーター

全世界のセールス&サービスを統括します。



1 東京

ナショナルヘッドクォーター

DMG森精機とDMG MORI SEIKIの本社として機能します。



2 名古屋

生産拠点（国内）

全世界の生産・製造を統括する工場です。



3 伊賀



4 奈良



5 千葉

生産拠点（海外・グループ会社）



6 Davis (アメリカ)



7 Tianjin (中国)



8 太陽工機 (新潟)



9 マグネスケール(神奈川)



10 DIXI machines, Le Locle(スイス)



11 Tobler, Louvres(フランス)

01

NHX 4000、NHX 5000の 第2世代が登場

2014年9月

高精度・高速横形マシニングセンタ「NHX 4000」と「NHX 5000」の第2世代モデルの販売を開始いたしました。性能面を向上させるだけでなく、新デザインを採用し、革新的な新オペレーティングシステムCELOS（セロス）を搭載して、新たな「NHX 4000」及び「NHX 5000」として進化いたしました。これまでの設備機械というイメージを一新する丸みを取り入れた外観デザインを採用し、提携するドイツDMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFTとの統一感がひと目でわかる製品となっています。



NHX 4000

03

環境性能を追求した 省電力機能を開発

2014年9月

環境性能を追求した省電力機能を開発し、当社開発の新型オペレーティングシステムCELOS（セロス）を搭載した工作機械から順次展開してまいります。当社は、限りある資源と美しい環境を守るために省エネルギーへの取り組みを進めてきました。今回、工作機械の様々な機能を最適化し、機械を効率的に稼働させることで、サイクルタイムの短縮や、自動運転中の省電力など多くの省電力機能を実現しました。当社の製品はお客様の生産性向上と省エネルギーを両立した次世代の工作機械に生まれ変わります。

02

量産部品加工用 高速横形マシニングセンタ i 50

2014年8月

量産部品加工用高速横形マシニングセンタ「i 50」の販売を開始いたしました。自動車のシリンダブロックとシリンダヘッドの加工に最適な主軸40番テーパの横形マシニングセンタであり、今回「i 50」がラインアップに加わることで、自動車エンジンの主要な構成部品加工に最適な製品を全て当社からご提供可能となりました。また、お客様の用途に合わせた2タイプのテーブルバリエーションや量産システムのライン構築への対応などお客様に高い付加価値をご提供します。



i 50



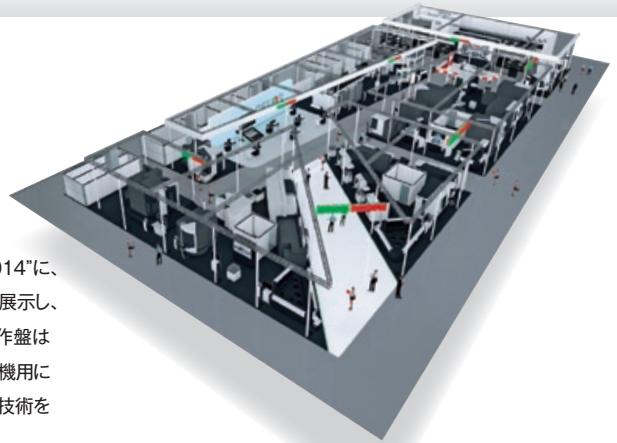
消費電力のCELOS画面への表示

04

JIMTOF2014 最大の出展ブースに 最新機種32台を展示

2014年10月

10月30日（木）～11月4日（火）の6日間、東京ビッグサイトで開催された“JIMTOF2014”に、出展企業中最大となる2,340m²のブースに新機種9台を含む計32台の最新鋭の工作機械を展示し、最新のデモ加工を行いました。今回は、全ての機械が新デザインコンセプト機となり、操作盤はタッチパネル操作を可能とするCELOS（セロス）を搭載したERGOline[®] Touchや、量産加工機用に新たに開発したCOMPACTlineを採用いたしました。当日お客様には、DMG MORIの最新技術を結集した次世代の工作機械をご覧いただきました。



05

IGA INNOVATION DAYS 2014 盛況のうちに閉会

2014年5月

5月21日（水）～24日（土）の4日間、弊社伊賀事業所にて“IGA INNOVATION DAYS 2014”を開催し、6,600名のお客様にご来場いただきました。会場では、アジア初出展となる、新デザインコンセプト機のCNC旋盤「NLX 4000」と「NLX 3000」を含む計42台の最新鋭の工作機械を展示し、自動車、航空機、建設機械、医療機器、金型、エネルギー産業などあらゆる業種の最新の加工事例をご紹介します。プレミアムパートナーシップを締結したボルシェ（ドイツ）がFIA世界耐久選手権に出場する「ボルシェ919ハイブリッド」も展示し、会場は連日活気に満ちあふれました。



06

壁画から飛び立つ四神 「朱雀」を3Dで再現

2014年4月

キトラ古墳壁画に描かれている四神「朱雀」を、当社製の工作機械で削り出し、3Dに再現いたしました。「朱雀」は、古代中国で四方を守護する四神とされた1つで、奈良県明日香村のキトラ古墳（特別史跡、7世紀末～8世紀初め）の極彩色壁画に描かれています。このような試みは初めてであり、加工とプログラム修正を地道に繰り返し、時間をかけて丁寧に製作を行いました。完成品には、金色の輝きをいつまでも保つようクリア塗装を施しています。



サイズ 24cm（幅）×33.5cm（長さ）×17.5cm（高さ）
材質 真鍮
加工機種 5軸マシニングセンタ DMU 50、立形マシニングセンタ NVX 5060II
製作期間 約1ヵ月半（3Dモデル製作から加工完了まで）

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

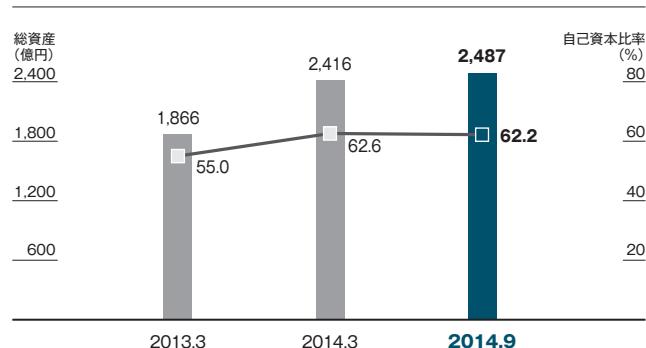
科目	前期	当中間期
	2014年3月31日現在	2014年9月30日現在
流動資産	99,353	104,406
固定資産	142,317	144,333
有形固定資産	69,009	70,916
無形固定資産	6,112	6,559
投資その他の資産	67,194	66,857
資産合計	241,670	248,740
流動負債	41,454	25,438
固定負債	44,714	64,395
純資産合計	155,501	158,905
負債・純資産合計	241,670	248,740

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	自 2013年4月 1 日 至 2013年9月30日	自 2014年4月 1 日 至 2014年9月30日
売上高	76,766	80,401
売上原価	51,679	53,672
売上総利益	25,087	26,729
販売費及び一般管理費	21,634	22,154
営業利益	3,452	4,574
営業外収益	944	2,554
営業外費用	917	438
経常利益	3,479	6,690
特別利益	3,826	262
特別損失	3,583	35
税金等調整前四半期純利益	3,722	6,916
四半期純利益	3,026	5,721

総資産／自己資本比率



詳細情報は

<http://www.dmgmoriseiki.co.jp/ir>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	自 2013年4月 1 日 至 2013年9月30日	自 2014年4月 1 日 至 2014年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,349	△ 2,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,027	△ 4,265
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,147	3,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△ 454	△ 3,924
現金及び現金同等物の期首残高	6,268	18,916
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	△ 1	△ 262
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	25	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,837	14,729

会社の概要

2014年9月30日時点

会社名	DMG森精機株式会社(DMG MORI SEIKI CO., LTD.)
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	奈良県大和郡山市北郡山町106番地
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)
東京グローバルヘッドクォーター	〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL:03-6758-5900(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造、販売、サービス
従業員	2,737名(個別) / 4,268名(連結)
ホームページ	http://www.dmgmoriseiki.co.jp

役員

2014年9月30日時点

取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	※ 近 藤 達 生
取締役副社長	※ 玉 井 宏 明
専務取締役	高 山 直 士
取締役	大 石 賢 司
常勤監査役	佐 藤 壽 雄
監査役	加 藤 由 人
監査役	栗 山 道 義

(注)1. ※印は、代表取締役を示しています。
2. 監査役の加藤由人、栗山道義の両氏は、社外監査役です。

株式の状況

2014年9月30日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	132,837,073株(自己株式106,610株を除く)
単元株式数	100株
中間期末株主数	38,748名

大株主

2014年9月30日時点

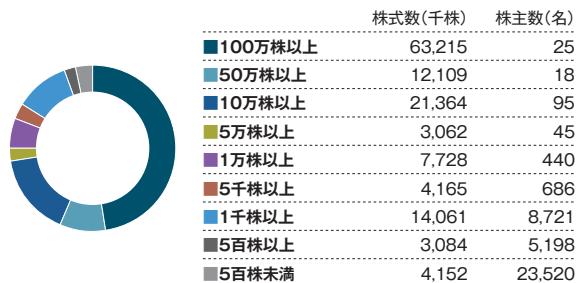
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ディーエムジー モリセイキ アーゲー (常任代理人 クレディスイス証券株式会社)	12,797	9.62
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社)	6,281	4.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,936	4.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,899	3.68
森 雅彦	3,540	2.66
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	3,498	2.63
森 智恵子	2,287	1.72
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,829	1.37
森 優	1,770	1.33
ザ・バンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌファイ 10 (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,563	1.17

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話:0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dmgmoriseiki.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

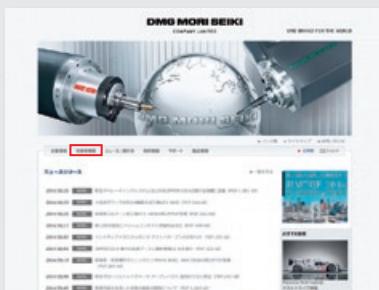
(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。

製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。



TOPページ



IRページ

<http://www.dmgmoriseiki.co.jp>

